

**日本ユニシス**  
**金融機関の自己資本比率規制に対応するソリューション**  
**「Levee X」を提供開始し、群馬銀行で稼働**  
～ 処理時間短縮と機能向上を実現、業務効率化による働き方改革を支援 ～

日本ユニシスは、金融機関の自己資本比率規制に対応するソリューション「Levee X（レヴィテン）」の提供を開始し、群馬銀行で4月から稼働しました。

今般、世界金融危機後の金融規制改革が最終化に向かう潮流のなかで、金融機関の事務作業負担は増加傾向にあります。「Levee X」は、自己資本比率規制に対応するための事務作業負担を軽減し、金融機関の課題を解決します。

日本ユニシスは「Levee X」の提供を通じて、行員の業務負担の軽減ならびにオペレーショナルリスクを低減し、金融機関の働き方改革を支援していきます。

#### 【背景と取り組み概要】

世界金融危機後の金融規制改革としてFSB<sup>(注1)</sup>およびBCBS<sup>(注2)</sup>から規制の改訂や追加が次々に発表され、金融機関の対応負担は増大の一途をたどっています。

日本ユニシスグループは、銀行の健全性規制の国際基準であるバーゼル規制<sup>(注3)</sup>に10年以上にわたって取り組んでおり、これまで信用リスク・アセット計算<sup>(注4)</sup>に特化した「Levee<sup>®</sup>」を金融機関に提供してきました。

「Levee X」は、この「Levee」を進化させ、業務とシステムの両面から大幅に機能を一新することで、さらなる負担軽減を実現します。

#### 【「Levee X」機能向上の概要】

##### 1. 計算処理時間の大幅な短縮

- ・計算処理方式の抜本的な刷新
- ・アルゴリズムの効率化とさらなる並列処理の活用

##### 2. 補正用データ取込の効率化

- ・クライアントからの補正用データ取込を簡素化し、データ補正負担を軽減
- ・定型的なデータ補正は、一括取込時に自動で実行

##### 3. データ活用および帳票作成の容易化

- ・決算状況表およびディスクロージャー用情報をExcel形式で定型的に出力
- ・データベースの検索・集計手順を登録し、データ抽出や帳票作成を定型的に利用可能
- ・リスク・アセット計算結果を利用した自己資本比率計算用のワークシートを出力

##### 4. フィナンシャルグループ（ホールディングス）への対応

- ・傘下金融機関のデータを利用し、持株会社全体のリスク・アセット計算を支援

##### 5. 分子部分を踏まえた自己資本比率の調整項目計算が可能に

- ・自己資本基礎項目および調整項目（国際統一基準、国内基準）
- ・資本バッファ（資本保全バッファ+カウンター・シクリカル・バッファ）<sup>(注5)</sup>
- ・外部TLAC（Total Loss-Absorbing Capacity）適格債務
- ・自己資本比率の算出において、自己資本～信用リスク・アセット間で参照/計算が発生する項目（特定項目15%基準超過額、重要な出資、経過措置など）

## 【今後の取り組み】

日本ユニシスは、バーゼルⅢ最終化を念頭に、第3の柱開示要件の対応範囲充実、新たな規制などに関するサービス提供、信用リスク・アセット計算における信用リスク削減手法ロジックの最適化、クラウド対応など、さまざまな機能拡充を展望しています。

今後も金融機関における規制対応の迅速化と効率化、リスク管理の高度化、データ活用による新たな収益機会の創出を支援していきます。

以 上

### 注1：FSB

金融安定理事会（Financial Stability Board）：金融安定化フォーラムが発展し2009年に発足した組織。国際金融に関する措置、規制、監督等の役割を担う。事務局は、スイス・バーゼルの国際決済銀行内設置。

### 注2：BCBS

バーゼル銀行監督委員会（the Basel Committee on Banking Supervision）：銀行監督に関する定期的な協力の場を提供し、グローバルな監督実務およびリスク管理実務の強化を図っている。事務局は、スイス・バーゼルの国際決済銀行に設置。

### 注3：バーゼル規制

第1の柱（最低所要自己資本比率）+第2の柱（金融機関の自己管理と監督上の検証）+第3の柱（市場規律）で構成され、国際的に活躍する金融機関の健全性担保を目的とする。

### 注4：信用リスク・アセット計算

標準的手法（SA：Standardized Approach for credit risk）、基礎的内部格付手法（FIRB：Fundamental Internal Ratings-Based Approach）ならびに先進的内部格付手法（AIRB：Advanced Internal Ratings-Based approach）のうち、SAおよびFIRBをカバー（国際統一基準および国内基準）。

### 注5：資本バッファ（資本保全バッファ+カウンター・シクリカル・バッファ）

G-SIBs サーチャージ、D-SIBs サーチャージおよびレバレッジ比率 G-SIBs バッファを除く。

※Levee は、日本ユニシスグループの株式会社エイファスの登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.unisys.co.jp/newsrelease\\_contact/](https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/)